



新年あけましておめでとうございます。  
旧年中の格別のご高配に  
心から感謝申し上げます。



株式会社MANIX  
代表取締役社長  
松田 幸治

皆様にとって2017年が実りある年となりますことを心よりお祈りしますと共に、  
本年もより一層のご厚情、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、社員一同心より  
お願い申し上げます。

新しい年が始まりました。弊社にとっては創業60年という大きな節目を超え、新たな一歩を踏み出す大変重要な年となります。新年を迎えるにあたり今まで以上にしっかりと未来を見据え、社員とともに歩んでいくことを強く決意するばかりです。

昨年は国内、海外において様々な出来事がありました。それぞれの出来事が経済に与えた影響は大きかったと感心します。もはや日本経済を考える場合、グローバル視点で物事を考えなければ取り残されるのではないかとも思いました。業界においても消費税増税の先送り、マイナス金利の運用など、少なからず影響があったのではないのでしょうか。住宅ローンの金利も最低レベルまで低下したものの、需要と供給のバランスの中で思ったほど伸びなかったのではないかと考えます。

2017年に何が起こるのかは予測不能ですが、しっかりと地に足を着けて前に進んでいきたいと思えます。

これだけ変化が激しく予測の難しい世の中であっても確定的に訪れる未来があります。それは国内の人口が減少することに伴い世帯数が減少すること、超高齢化社会が訪れることです。この二つの事柄は何年も前から言われ続け、それは既に始まっていて、私たちが肌で感じるレベルまで到達したのではないのでしょうか。これはマイナス要素として伝えられがちですが決してそれだけではありません。その中でもビジネスチャンスはあると考えています。キーワードはネットワーク型コンパクトシティの形成にあると考えています。今の都市形成モデルは20世紀の人口急増時代に創りあげられたもので、21世紀の人口減少時代では新しい都市形成モデルが必要だと考えられています。最近コンパクトシティという言葉が耳にすることが増えてきました。近い未来ということではなく、何十年も先の話なのかもしれません。まだまだ賛否はありますが、私はその方向へ進んでいこうと考えています。都市形成を抜本的に見直す機会であるとしたら、我々の業界には必ずビジネスチャンスがあるのではないのでしょうか。

私たちが身を置く業界はこの社会において無くてはならない業界です。私たちがいなければ人の生活は成り立ちません。住む場所、働く場所、学ぶ場所、安らぐ場所、集う場所、そこには必ず建物があり、そして必ず水がある。私たちの商売の原点は人の生活に必要な場所を提供することにあります。時代とともに便利な世の中が形成され、求められることはより高度になってきました。しかし原点は昔から変わりません。お客様を通じて関わりを持たせていただいた場所を誰かが利用している、そう考えればお客様も私たちも商売を通じて人の役に立っているのです。この原点を誇りに思いこれからもお客様とともにこの商売を続けていきたいと強く願います。

最後に

永らくご愛読いただきましたMIZMIZは本誌面をもちまして、  
新しい形へ変更させていただきます。  
新しくなるMIZMIZのご愛読を何卒よろしく申し上げます。

最後までお読みいただきありがとうございました。

